

事業

1 平成25年度事業報告

公1 事務局事業

16,458,376 円

1 文化事業 16,458,376 円

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援した。

(1) 主催事業 6,579,430 円

ミニライブコンサート (285,000)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出すとともに、市役所を訪れた市民が気軽に音楽を楽しむコンサートを開催した。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

文化講演会 (460,975)

著名な作家を講師に招き、講演会を開催した。

開催日 平成25年11月23日

場 所 市民プラザ

講 師 童門 冬二

演 題 「わたしの小説作法 - 歴史小説への道 - 」

入場者 300人

坂口安吾顕彰事業 (5,833,455)

新潟市が管理する安吾 風の館(旧市長公舎)で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム(HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施、第4回安吾講座-もっと知りたい安吾の魅力-(参加者19名)、小中学生の総合学習への協力等により安吾の普及啓発に努めた。また、引き続き関連資料の調査研究を行った。

・「安吾作品『桜の森の満開の下』の世界」展

開催日 平成25年4月4日～7月28日

内 容 安吾の代表的作品である『桜の森の満開の下』は、演劇、映画、絵画、漫画、絵本など多くの作品の題材となっている。触発され新たに創られた世界を写真や台本、資料等で紹介することによって、安吾作品の魅力に迫った。風の館の桜が満開となった4月13日の閉館後に朗読会を行った。

入場者 1,923人 (100日間)

・「文壇デビュー前夜 - その時、文学も美術も音楽も同じ芸術だった - 」展

開催日 平成25年8月8日～12月1日

内 容 安吾は文壇デビューのきっかけとなった同人誌『言葉』で「芸術は文学も美術も音楽も常に連絡をとるべきだ」と主張している。友人に宛てた手紙や訪れた美術展、コンサートなどから、当時の若き芸術家の動向と安吾が目指した文学について紹介した。

入場者 2,153人 (106日間)

・「安吾巷談 - 戦後の世相・風俗を斬る」展

開催日 平成 25 年 12 月 12 日～平成 26 年 3 月 23 日

内 容 1950 年『文藝春秋』に 1 年間掲載された「安吾巷談」。いまだ混迷続ける社会でおこるスキャンダルや事件等々を“流行作家安吾”の言葉で論評した連載は好評を博した。当時の世相と安吾の視点を写真、安吾の原稿やメモ等から紹介した。

入場者 1,257 人 (82 日間)

(2) 共催・協賛事業 5,055,960 円

共催事業

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

- ・第 27 回新潟市郷土芸能発表会 (300,000)

開催日 平成 25 年 7 月 7 日 入場者 300 人

- ・2013 にいがた総おどり祭(下駄総踊り) (1,000,000)

開催日 平成 25 年 9 月 14 日・15 日(16 日は台風の影響により中止)

来場者 135,685 人

- ・第 61 回新潟市芸能まつり (2,500,000)

開催日 平成 25 年 10 月 6 日～平成 25 年 12 月 15 日 入場者 15,452 人

- ・第 45 回新潟市美術展 (350,000)

開催日 前期:平成 25 年 10 月 16 日～10 月 20 日/後期:平成 25 年 10 月 23 日～10 月 27 日

入場者 5,580 人

協賛事業

市民が自発的に行う企画性に富んだ、創造的文化事業に対して資金的な支援をした。

- ・新潟ジュニアジャズオーケストラ クリニック事業 (700,000)

開催日 平成 25 年 7 月 14 日 入場者 500 人

(3) 表彰顕彰事業 104,930 円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

- ・新潟市美術展 6 部門
- ・アークベル県民アマチュア絵画展 2 部門
- ・光風会新潟支部展 1 部門
- ・二科新潟展 1 部門
- ・新潟県工芸会展 1 部門

(4) 支援助成事業 4,665,156 円

市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化事業に対して、申請時期を上期・下期の 2 期に分け、上限 20 万円で助成金を交付した。(助成対象事業は審査会に諮って決定)

期 別	事 業 実 施 期 間	申請件数	交付件数	交付金額
平成 25 年度 上 期	平成 25 年 4 月 1 日から 平成 25 年 9 月 30 日まで	15 件	15 件	2,425,000 円
平成 25 年度 下 期	平成 25 年 10 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで	14 件	13 件	2,120,000 円
合 計		29 件	28 件	4,545,000 円

(5) 芸術家支援事業 52,900 円

新潟市が実施する下記の芸術家支援制度について、広報、申込受付、融資金の振込などの事務を受託した。(平成 25 年度は融資申込なし)

- ・新潟市芸術活動助成金等内定者資金融資制度

2 会議の開催状況

(1) 評議員会

第 1 回(定時) 平成 25 年 6 月 6 日

- ・平成 24 年度事業報告及び決算について
- ・助成事業審査員の補欠選任について

第 2 回 平成 26 年 3 月 26 日【書面】

- ・評議員の辞任に伴う補欠選任について
- ・理事の辞任に伴う補欠選任について

(2) 理事会

第 1 回 平成 25 年 4 月 1 日【書面】

- ・常務理事の選定について
- ・常勤役員の報酬の金額等について
- ・事務局長の任命について

第 2 回 平成 25 年 5 月 23 日

- ・平成 24 年度事業報告及び決算について
- ・助成事業審査員の補欠選任について
- ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について(報告)

第 3 回 平成 26 年 3 月 20 日

- ・平成 25 年度補正予算について
- ・平成 26 年度事業計画及び予算について
- ・規程、規則の一部改正(給与規程)について
- ・法令遵守規程の制定について
- ・第 2 回評議員会(書面)の日時及び場所並びに目的である事項について
- ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について(報告)

1 文化事業 584,919,773 円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館等諸施設を十分に活かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行った。

また、りゅーとぴあ音楽文化会館を芸術文化活動の拠点施設として、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図った。

平成 25 年度は開館 15 周年にあたることから、記念事業を展開した。(「 」で表示)

(1) 音楽事業 209,302,498 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会や、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらに、オルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより聴衆の水準を高めるとともに、その拡大に努めた。

また、各種講座の開催や普及プログラムを実施し、市民の音楽活動の底辺拡大や、ジュニアの育成強化を図った。特に、25 年度は、3 年に 1 度開催している「ジュニアオーケストラ・フェスティバル」を開催してジュニア育成事業の一層の振興を図るとともに、音楽事業全体を通して幅広い聴衆の拡大を図った。

鑑賞事業 (172,144,414)

- 東京交響楽団シリーズ -

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第 77 回 平成 25 年 5 月 12 日(日) ~ ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」~

第 78 回 7 月 21 日(日) ~ ベルリオーズ：劇的交響曲「ロメオとジュリエット」~

第 79 回 9 月 23 日(月・祝) ~ サン=サーンス：交響曲第 3 番「オルガン付き」~

第 80 回 10 月 14 日(月・祝) ~ R. シュトラウス：アルプス交響曲~

第 81 回 11 月 17 日(日) ~ ブラームス：「運命の歌」、「悲歌」~

第 82 回 平成 26 年 3 月 2 日(日) ~ チャイコフスキー：~ 交響曲第 5 番ホ長調~

・コントホールへようこそ~わくわくキッズコンサート(5 回公演) 平成 25 年 10 月 16 日(水)~17 日(木)

・市内小学校アウトチーチ(40 校) 平成 25 年 10 月 18 日(金)~20 日(日)

・特割コンサート 平成 25 年 10 月 17 日(木)

・東響定期+ No.5 札幌交響楽団 平成 25 年 10 月 26 日(土)

・友の会会員限定コンサート「交響曲第 1 番 HIROSHIMA」平成 25 年 8 月 13 日(火)

- ピアノ・リサイタルシリーズ -

・シリーズ No.30 イリヤ・ラシュコフスキー 平成 25 年 7 月 3 日(水)

- 歌の花束シリーズ -

・Vol.21 日本新入オペラ歌手デビューコンサート 平成 25 年 11 月 30 日(土)

- カルテットシリーズ -

- ・シリーズ No.29 クアルテット・エクセルシオ 平成 25 年 9 月 28 日(土)
- ・シリーズ No.30 アトリウム弦楽四重奏団～シヨスタコーヴィチ弦楽四重奏曲全曲演奏会
平成 25 年 12 月 7 日(土)

- オルガンシリーズ -

- ・山本真希リサイタルシリーズ No.16 平成 25 年 10 月 13 日(日)
- ・山本真希リサイタルシリーズ No.17 平成 26 年 2 月 9 日(日)
- ・オルガン・クリスマスコンサート 平成 25 年 12 月 21 日(土)
- ・ヴォルフガング・ツェラー オルガン・リサイタル 平成 26 年 3 月 15 日(土)

- りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ -

- ・プラハ国立歌劇場オペラ《魔笛》 平成 25 年 10 月 5 日(土)

- ホール体験事業 -

・ 1 コインコンサート

- Vol.63 「サクソフォーン四重奏」 平成 25 年 4 月 13 日(土)
- Vol.64 「ピアノ」 平成 25 年 5 月 19 日(日)
- Vol.65 「フルート」 平成 25 年 6 月 21 日(金)
- Vol.66 「ホルン」 平成 25 年 8 月 7 日(水)
- Vol.67 「ピアノ」 平成 25 年 9 月 11 日(水)
- Vol.68 「ピアノ五重奏」 平成 25 年 10 月 7 日(月)
- Vol.69 「オルガン」 平成 25 年 12 月 5 日(木)

・ プライム・クラシック 1500

- Vol.13 「フルート」 平成 25 年 6 月 21 日(金)
- Vol.14 「ピアノ五重奏」 平成 25 年 10 月 7 日(月)

- その他 -

- ・茂木大輔のオーケストラコンサートシリーズ Vol.9 平成 25 年 6 月 30 日(日)
- ・3時のプレミアムコンサート～ウィーン・V・ルジュリウス ピアノ三重奏団 平成 25 年 7 月 19 日(金)
- ・山宮るり子・ハープリサイタル 平成 25 年 7 月 27 日(土)
- ・ライナー・キュッヒル ヴァイオリン・リサイタル 平成 25 年 10 月 9 日(水)
- ・ターフェルムジーク・パロックオーケストラ「ガリレオ・プロジェクト」 平成 25 年 11 月 20 日(水)
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」 平成 26 年 1 月 5 日(日)
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニュー・イヤーコンサート」 平成 26 年 1 月 5 日(日)
- ・オペラシアターこんにゃく座 「ねこのくにのおきゃくさま」 平成 26 年 3 月 23 日(日)劇場

育成・普及事業 (37,158,084)

- オルガン事業 -

・オルガン普及プログラム

りゅーとぴあオルガン講座

入門講座	
市民オルガン講座	ポジティブオルガン使用の半年コース
基礎講座	
ジュニアコース	大オルガン使用の半年コース
一般コース	大オルガン使用の1年コース
応用講座	
応用コース	大オルガン使用の1年コース
ニューイヤー・オルガンスペシャル	平成26年1月12日(日)
オルガン音楽隊	随時・通年
オルガン・サマーデイズ	平成25年8月1日(木)～3日(土)
専属オルガニスト山本真紀CD製作	平成25年9月～平成26年2月

- 市民参加合唱団 -

- ・ にいがた東響コーラス

平成25年6月～11月
平成26年1月～3月

- ジュニア等育成事業 -

- ・ ジュニアオーケストラ教室育成事業

ジュニアオーケストラ・フェスティバル2013	平成25年8月18日(日)
第32回定期演奏会	平成25年9月15日(日)
クリスマス演奏会	平成25年12月23日(月・祝)音文
- ・ 全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会

通年

- ・ ジュニア合唱団育成事業

第23回定期演奏会	平成25年7月14日(日)
クリスマス演奏会	平成25年12月22日(日)音文
にいがたジュニアコーラス・フェスティバル	平成26年2月15日(土)
- ・ ジュニア邦楽合奏教室育成事業

第18回定期演奏会	平成25年7月28日(日)音文
クリスマス演奏会	平成25年12月21日(土)音文
- ・ ジュニア音楽教室第10回スプリングコンサート

平成26年3月30日(日)

- その他 -

- ・ 公共ホール音楽活性化・政令市モデル事業

平成25年5月15日(水)

- ・ ジョイント・コンサート

平成26年3月16日(日)秋葉区文化会館

- ・ 市内小学校アウトリーチ(15校)

平成25年7月～12月

- ・ おんぶん・リレーコンサート

平成25年11月22日(金)～24日(日)

- ・ コンサートホール企画連絡会議

通年

(2) 演劇事業 85,161,125 円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作の作品及び小劇場系の演劇公演や伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の定

着を目指した。また、「演劇スタジオキッズ・コース APRICOT」、「こどもの劇場シリーズ」により次世代を担う子どもたちに優れた舞台作品の鑑賞機会を提供するとともに、舞台芸術に携わる人材の育成にも努めた。地域の劇団との交流および活性化を目的とした「芸術のミナト新潟演劇祭」は初のプロデュース公演を実施し、地域に密着した芸術文化活動の振興を図った。

鑑賞事業 (63,261,785)

- ・「マシーン日記」 1回公演 平成25年4月13日(土)
- ・「柳家三三で北村薫。」 1回公演 平成25年6月8日(土)
- ・「第二十五回ふるまち新潟をどり」 2回公演 平成25年6月16日(日)
- ・「オセロ」 1回公演 平成25年7月3日(水)
- ・「春風亭小朝独演会」 1回公演 平成25年9月25日(水)
- ・「人形浄瑠璃・文楽」 2回公演 平成25年10月9日(水)
- ・葛河思潮社 Vol.3「冒した者」 1回公演 平成25年10月12日(土)
- ・ミュージカル「フォーエヴァー・プラットフォーム」 1回公演 平成25年10月21日(月)
- ・演劇集団キャラメルボックス「ウルトラマリンブルー・クリスマス」 2回公演
平成25年11月29日(金)~30日(土)
- ・NE/ST 第3弾 マームとジプシー「モノパノラマ」 2回公演
平成25年12月6日(金)~7日(土)
- ・白石加代子「百物語」シリーズ第三十一夜 1回公演 平成26年2月15日(土)
- ・「神なき国の騎士 - あるいは、何がドク・ホーテにそうさせたのか?」
2回公演 平成26年3月28日(金)~29日(土)

育成・普及事業 (21,899,340)

- ・こどもの劇場シリーズ「ピノキオ~または白雪姫」 3回公演 平成25年9月28日(土)~29日(日)
- ・演劇スタジオキッズコース・APRICOT 夏季公演「名犬ラッシー」平成25年8月9日(金)10日(土)
- ・演劇スタジオキッズコース・APRICOT 夏季ツアー(秋葉区文化会館)平成25年10月14日(月・祝)
- ・演劇スタジオキッズコース・APRICOT 春季発表会「へそまがり昔ばなし」/「走れぬ」
平成26年3月21日(金・祝)~22日(土)
- ・芸術のミナト 新潟演劇祭プロデュース公演「恋する世阿弥」 6回公演
平成26年3月1日(土)~2日(日)
- ・芸術のミナト 新潟演劇祭特別公演 HARVEST「メディア」 2回公演
平成26年3月22日(土)~23日(日)
- ・りゅーとぴあ・演劇ワークショップ
 - ・講師：岡田利規(チェルフィッチュ主宰) 2回 平成25年7月22日(月)~23日(火)
[関連事業] チェルフィッチュ「女優の魂」 2回公演
平成25年7月30日(火)~31日(水)
 - ・講師：柴幸男(ままごと主宰) 1回 平成25年8月20日(火)
[関連事業] ままごと「日本の大人」 3回公演
平成25年8月22日(木)~23日(金)
 - ・講師：成井豊(演劇集団キャラメルボックス) 4回 平成25年8月23日(金)~24日(土)

(3) 能楽事業 32,596,488 円

伝統様式の本格的な能舞台と劇場を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた公演と、能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催した。また、お囃子や狂言のワークショップの開催により子どもたちへの能楽の普及を図った。

鑑賞事業 (29,927,527)

- ・「春の能楽鑑賞会」(観世流) 2 回公演 平成 25 年 4 月 13 日(土)
- ・スーパー能「世阿弥」1 回公演 平成 25 年 7 月 28 日(日)
- ・野村万作・萬斎「古典狂言」公演 2 回公演 平成 25 年 7 月 14 日(日)
- ・「秋の能楽鑑賞会」(宝生流) 2 回公演 平成 25 年 10 月 26 日(土)
- ・野村万作・萬斎「劇場狂言(萬斎ボレ口)」1 回公演 平成 25 年 11 月 21 日(木)

育成・普及事業 (2,668,961)

- ・馬場あき子 能楽の愉しみ「鶴」1 回公演 平成 25 年 5 月 25 日(土)
- ・能楽ワークショップ [囃子・共催事業] 5 回 平成 25 年 6 月 20 日(木)~21 日(金)
- ・観世流能楽鑑賞教室 (共催事業) 1 回公演 平成 25 年 9 月 14 日(土)
- 舞の習い 8 回 平成 25 年 7 月 6 日(土)~9 月 13 日(金)
- ・若手能楽師に聞く能の楽しみ 2 回公演 平成 25 年 9 月 8 日(日)・11 月 30 日(土)
- ・秋の能楽鑑賞会プレ講座 1 回 平成 25 年 10 月 12 日(土)
- ・能楽ワークショップ [狂言・共催事業] 5 回 平成 26 年 2 月 3 日(月)~4 日(火)
- ・「さわってみよう能の世界」1 回公演 平成 26 年 3 月 27 日(木)

(4) 新潟発創造事業 190,175,141 円

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信した。

平成 25 年度は、24 年度から新企画としてスタートした「りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ」に本格的に取り組み、再演 1 本を含む年間 6 作品を発表した。日本文学の中で、長く読み継がれる名作の数々から、女性の人生を朗読劇として舞台化した。新潟からオリジナルな舞台を創造するとともに、その作品がいかにかソフトとして全国に公演展開できるのかを考えながら事業を展開した。

レジデンシャル・ダンス・カンパニーNoism では、メインカンパニーである Noism1 が 5 月に新作「ZAZA~祈りと欲望の間に」を公演。新潟公演のあと、神奈川、静岡での公演を実施した。12 月には 2007 年に初演した「PLAY 2 PLAY - 干渉する次元」を改訂版として再演。新潟公演のあと神奈川での公演を実施した。ともに好評な成果をおさめることができた。

また、2008 年に発表し高い評価を得た「Nameless hands~人形の家」の海外公演を初めてスペインで実施した。この公演により、今後のヨーロッパ及び南米での公演実施の展望を得ることができた。

研修生カンパニーNoism2 では、3 月に恒例の「Noism2 春の定期公演 2014」を開催し本年度も新潟県文化振興財団により聖籠町と燕市にて巡演を行なった。7 月には「Noism2 夏の特別公演 in 新潟県政記念館」を開催し、Noism2 の作品を観ていただく機会を増やすことができた。また 6 月の「CITY GARDEN NIIGATA Noism2 特別パフォーマンス」やホテルでのイベントパフォーマンスなどの外部企画イベントにも積極的に参加出演。発表の場とするとも

に、Noismの活動を多くの市民に知らしめる機会となった。

・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ

司馬遼太郎「燃えよ剣」～土方歳三に愛された女、お雪～ 出演/十朱幸代

平成 25 年 5 月 17 日(金)～18 日(土) 2 回公演 りゅーとぴあ・能楽堂

平成 25 年 5 月 27 日(月)～28 日(火) 東京公演、その他 5 都市 12 公演

井伏鱒二「黒い雨」～八月六日広島にて、矢須子～ 出演/奈良岡朋子、その他 3 都市 3 公演

平成 25 年 8 月 2 日(金)～3 日(土) 2 回公演 りゅーとぴあ・能楽堂

藤沢周平「蝉しぐれ」～永遠の初恋、ふく～ 出演/岸恵子

平成 25 年 9 月 20 日(金)～21 日(土) 2 回公演 りゅーとぴあ・劇場

平成 25 年 8 月 30 日(金)・9 月 2 日(月)～6 日(金) 東京公演、その他 11 都市 12 公演

平岩弓枝「花影の花」～大石内蔵助の妻、りく～ 出演/水谷八重子

平成 25 年 10 月 13 日(日)・21 日(日)2 回公演 東京、その他 8 都市 8 公演

三島由紀夫「春の雪」～禁断の恋、聡子～ 出演/若尾文子、三田村邦彦

平成 25 年 11 月 19 日(火)、21 日(木)～22 日(金) 東京公演

平成 25 年 12 月 15 日(日)～16 日(月) りゅーとぴあ・能楽堂、その他 2 都市 2 公演

渡辺淳一「花埋み」～日本初の女医、荻野吟子の生涯～ 出演/山本陽子

平成 26 年 3 月 15 日(土) りゅーとぴあ・能楽堂、その他 6 都市 6 公演

・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism

Noism1「ZAZA～祈りと欲望の間に」

平成 25 年 5 月 24 日(金)～26 日(日) 3 回公演 りゅーとぴあ・劇場

5 月 31 日(金)～6 月 2 日(日) 3 回公演 KAAT 神奈川芸術劇場

7 月 20 日(土)～21 日(日) 2 回公演 静岡芸術劇場

Noism1「PLAY 2 PLAY - 干渉する次元」(改訂版再演)

平成 25 年 12 月 20 日(金)～22 日(日) 3 回公演 りゅーとぴあ・劇場

平成 26 年 1 月 24 日(金)～25 日(土) 2 回公演 KAAT 神奈川芸術劇場

(海外公演)

Noism1「Nameless hands～人形の家」(スペイン/マドリッド)

平成 25 年 11 月 28 日(木)～30 日(土) 3 回公演 Teatros del Canal

「Noism2 夏の特別公演 in 新潟県政記念館」平成 25 年 7 月 13 日(土)～14 日(日) 3 回公演

新潟県政記念館(旧新潟県会議事堂)

「Noism2 春の定期公演 2014」平成 26 年 3 月 7 日(金)～9 日(日) 4 回公演

りゅーとぴあ・スタジオ B

聖籠町公演 平成 26 年 3 月 14 日(金) 1 回公演 聖籠町文化会館

燕市公演 平成 26 年 3 月 15 日(土) 1 回公演 燕市文化会館

Noism2「CITY GARDEN NIIGATA」(食と花の世界フォーラム実行委員会)

平成 25 年 4 月 20 日(土)【プレ】 6 月 7 日(金) 8 日(土) 14 日(金) 15 日(土)

NEXT21(1F アトリウム)

Noism2「二十日会新年会特別パフォーマンス」(二十日会)

平成 26 年 2 月 4 日(火) 新潟グランドホテル(波光の間)

ニイガタ・クリエーション - 美術館は生きている(新潟市美術館)

平成 26 年 2 月 15 日(土)～3 月 30 日(日) 新潟市美術館

Noism からだワークショップ (新潟市上古町商店街振興組合)

平成 25 年 11 月 2 日 (土) 妙覚寺参道 (古町通 3 番町)

「柳都会」平成 25 年 4 月 7 日 (日) 第 7 回 (伊野義博)

7 月 7 日 (日) 第 8 回 (齋藤正行)

平成 26 年 2 月 23 日 (日) 第 9 回 (山崎繁人) りゅーとぴあ・スタジオ B

(5) 共催事業 8,482,675 円

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行った。

なお、4 月 26 日～28 日に開催したクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業と連携を取りつつ合わせて広範な集客を図った。

・BBC フィルハーモニック

平成 25 年 4 月 11 日(木)

・ラ・フォル・ジュルネ新潟 2013

平成 25 年 4 月 26 日(金)～28 日(日)全館・音文

・ストラディバリウス・サミットコンサート

平成 25 年 6 月 2 日(日)

・ブーニン・ピアノリサイタル

平成 25 年 10 月 27 日(日) 中止

・第 61 回新潟市芸能まつり

平成 25 年 10 月～12 月音文ほか

・「劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合」

平成 26 年 1 月 12 日(日)劇場

・榎本大進/ベルリンフィル八重奏団

平成 26 年 1 月 28 日(火)

・山海塾「降りくるものの中で - とばり」

平成 25 年 7 月 19 日(金)劇場

・中村恩恵×首藤康之 シェイクスピア「ソネット」

平成 26 年 2 月 1 日(土)劇場

(6) 広報営業事業 23,021,890 円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピールして、会館の知名度の拡大と利用促進を図った。

・広報・営業事業

・音楽広報事業

・演劇広報事業

(7) 調査研究諸費 915,594 円

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めた。

(8) 事業企画諸費 11,639,045 円

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を外に発信した。

・芸術監督 (音楽部門・演劇部門・舞踊部門)

・専属オルガニスト

- (9) 事業管理経費 23,625,317 円
票券業務、託児サービス業務、友の会運営業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めた。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 679,318,266 円

- (1) 市民芸術文化会館管理事業 578,111,461 円

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 25 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

コンサートホールの管理

劇場の管理

能楽堂の管理

ギャラリーの管理

スタジオの管理

練習室の管理

平成 25 年度市民芸術文化会館入館者数 362,462 人

- (2) 音楽文化会館管理事業 101,206,805 円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。

平成 25 年度も市民芸術文化会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

ホールの管理

練習室(13 室)の管理

平成 25 年度音楽文化会館入館者数 183,092 人

新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 188,198,408 円

1 文化事業(指定管理事業) 19,298,816 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 252,000 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説をおこなった。また、館に寄贈された牡丹山の埴輪を常設展示した。

(2) 企画展示事業 10,644,837 円

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした企画展示を実施した。今年度は通常の4本に加え、開館10周年記念特別展を本年度内に開幕し、26年度にわたって実施する。

「報じられなかった写真 昭和30年代 写真家・小林新一の820カット」(1,564,650)

当館に寄贈された新潟市の写真家小林新一のフィルム群から戦後新潟の出来事とその取材現場の実情を検証した。写真をスリーブ状のまま展示する試みは日本展示学会誌で紹介され、また新潟大学地域映像アーカイブの企画、新潟日報文化欄の連載記事など展覧会の波及効果があった。期間中は講座・シンポジウムなどを多数実施した。

開催期間 平成25年4月27日～6月9日 39日間

観覧者数 3,285人(うち有料観覧者 2,289人、無料観覧者 996人)

「新潟の漆器」展 (2,868,062)

県内で発掘された考古資料、および当館や市内の収集家が所蔵する新潟塗に関わる資料を展示し、越後における生活道具としての漆器の歴史、市域の漆器産業について紹介した。期間中に専門家による講演会等を行った。

開催期間 平成25年7月20日～9月1日 39日間

観覧者数 2,030人(うち有料観覧者 1,429人、無料観覧者 601人)

むかしのくらし展「移り変わるくらしと住まいの道具」(1,218,012)

暖房具や照明具といった「住」についての道具に焦点を当て、明治から現代に至る移り変わりを紹介した。また、昔の暮らしについて理解を深めるため、七輪や蓄音機を実際に使うイベントも行った。

開催期間 平成25年9月14日～11月24日 62日間

観覧者数 10,388人(無料観覧者)

活動展示2013「博物館行き」(546,377)

本年度は収集活動をテーマに実施した。意外性のある資料や視覚的に印象の強い資料を意識し、博物館における収集という仕事の特性に一般の来場者が関心をもてるように配慮した。期間中「収蔵庫ツアー」と学芸員によるミニ・トークを毎週(各7回)行った。

開催期間 平成 25 年 12 月 7 日～平成 26 年 1 月 26 日 38 日間

観覧者数 2,065 人(無料観覧者)

「大新潟湊展」 (4,447,736)

多くの廻船でにぎわった江戸から明治期の新潟湊をテーマとし、県内外に所在する新潟と深くかかわる資料を集め展示をし、新潟湊の役割や特色を体系的に明らかにする。

開催期間 平成 26 年 3 月 21 日～3 月 31 日 8 日間

(実開催会期～5 月 18 日、51 日間)

観覧者数 1,368 人(うち有料観覧者 571 人、無料観覧者 797 人)

(3) 教育普及事業 601,046 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを実施した。また、茶の間を使って高機の展示をした。

博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うとともに、市内の小中学校からの要請により学校へ出向いて民具を使用した授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員による寄附講義を開講するとともに、大学生を受入れ、通年および期間集中の館実習を開催した。また今年度は、同志社大学留学中のドイツチュービンゲン大学の学生をインターンとして受入れた。

講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全 10 回、古文書入門講座 全 5 回、館長講座 全 4 回など

ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。そのほか、みなとびあフェスティバルや写生会などボランティア主催の自主企画などを実施した。

共催事業

新潟大学災害・復興科学研究所、文化財保存新潟県協議会、日本民俗学会談話会、新潟市、あさひまち展示館、東北・関東前方後円墳研究会等との共催で講座・講演を実施した。また、開館 10 周年記念のイベントとして松岡正剛氏の講演会を新潟市との共催で実施した。さらに新潟日报社と共催し、メディアシップを会場に体験学習や展示等を行った。

(4) 施設普及事業 1,770,370 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

「新収蔵品展」・「収蔵品展」の開催

「新収蔵品展」では、今年度に寄贈いただいた民俗資料・文書資料・メディア資料・美術資料等の中から、約 70 点を選んで展示した。

「収蔵品展」は、当館が所有する資料を市民に公開し、理解を深めてもらうことを目的に実施するもので、今年度は「おくりもの」をテーマに収蔵資料から関連する資料を選んで展示した。

・「新収蔵品展・収蔵品展」開催期間 平成 26 年 2 月 1 日～3 月 2 日（25 日間）

地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町の PR を目的に以下の事業を開催した。

堀とさくらのコンサート（4/13）、新潟みなと水遊記開幕式（7/13）、夕涼みコンサート（8/17）、みなと・しもまち・川まつり（8/25）

みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員向けに提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき（白山公園周辺・古町周辺）・館長バスツアー（頸城の古墳めぐり）・館長講演会を行った。

(5) 調査研究事業 1,017,376 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、そうした成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 10 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 5,013,187 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPM に則った各種の保存環境管理を行った。

資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 168,899,592 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）

旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）

屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

旧新潟税関庁舎

史跡（石段、石積み、石庫等）

平成25年度歴史博物館入館者数 92,191 人

1 文化事業(指定管理事業) 2,006,660 円

「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 常設・企画展示事業 585,343 円

【常設展】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介した。

【企画展】

道具蔵を使い、みなとまち新潟・小澤家に関連する展示を行ったほか、主屋・新座敷の館内全体を使った展示を行った。また、新潟市漆器同業組合、新潟仏壇組合、新潟ハイカラ文庫など地域団体と連携した展示・企画展を行った。

「端午の節句飾り」展

小澤瓊子氏の協力を得て開催した。小澤家旧蔵の兜をはじめ、小澤家より端午の節句を祝う室内飾りや掛け軸など借用し展示した。また、道具蔵では煎茶道で使用する竹製の大型の花活けや華麗な陶器の花瓶なども展示した。

開催期間 平成 25 年 4 月 20 日～5 月 8 日 17 日間

観覧者数 914 人(うち有料観覧者 855 人, 無料観覧者 59 人)

「屏風」展

みなとびあの協力を得て、小澤家所蔵の南蛮屏風や新潟市内で活躍した絵師や画家が描いた屏風・掛け軸を道具蔵・次ノ間・藤ノ間の各室で展示した。市内に高い技能や技術をもった絵師や画家がいたこと、当時の商家において屏風や軸を室内に飾って楽しんだ習慣があったことなど、展示を通じて新潟で息づく文化の一端を紹介した。

開催期間 平成 25 年 5 月 25 日～6 月 2 日 8 日間

観覧者数 422 人(うち有料観覧者 409 人, 無料観覧者 13 人)

第三回「新潟漆器」展

前年度に引き続き新潟市漆器同業組合と共催した。江戸後期から明治期に制作された新潟漆器を道具蔵・寝間・通り土間・台所・藤ノ間・百合ノ間に展示し、竹塗りや錦塗りといった特徴ある新潟漆器の技法、漆器職人の高い技術など新潟漆器の価値を広く市民に周知した。また、企画展と併せて体験プログラムとして情報案内所で、沈金体験を 9 回実施した。その他に離れ座敷で新潟漆器を使って新潟の食を味わう「北前三味パック」を 1 回実施するとともに、庭園を使ってアコースティック・ミニコンサートを 1 回実施し、展示とは異なった旧小澤家住宅の楽しみ方を演出した。

開催期間 平成 25 年 7 月 20 日～9 月 1 日 39 日間

観覧者数 1,492 人(有料観覧者 1,313 人 無料観覧者 179 人)

「商家の筆筭」展

新潟ハイカラ文庫と協力し、主に新潟の商家で使用された車筆筭・帳場筆筭・船筆筭など様々な筆筭を展示した。かつて越後や佐渡で明治期に製作された堅牢で重厚な筆筭を展示し、当時の商人たちの必需品として各種の筆筭があったことを紹介した。

開催期間 平成 25 年 9 月 7 日～10 月 6 日 26 日間

観覧者数 1,445 人（有料観覧者 982 人 無料観覧者 463 人）

「新潟仏壇」展

新潟仏壇組合と共催し、新潟仏壇の歴史と新潟の仏壇職人が有する高い製作技術を実物の仏壇やパネルで紹介した。企画展と併せて体験プログラムとして情報案内所で、蒔絵体験を 2 日間実施した。他にも講演会や警女唄を聴く会などそれぞれ 1 回ずつ実施し新潟仏壇の魅力を伝える催事を行った。

開催期間 平成 25 年 10 月 12 日～11 月 4 日 21 日間

観覧者数 1,250 人（有料観覧者 874 人 無料観覧者 376 人）

「小澤家の品々」展

当館で所蔵する小さくかわいい玩具を展示し、いつの世も普遍的に子供に対する親の深い愛情があったことを紹介した。

開催期間 平成 25 年 11 月 16 日～12 月 15 日 25 日間

観覧者数 794 人（有料観覧者 675 人 無料観覧者 119 人）

ボランティア企画「灯籠」展

当館ボランティア企画による画期的な写真展。ボランティアが会議を重ね企画し、市内外に赴いて撮影した灯籠の写真のパネル製作し展示まで行った。

開催期間 平成 25 年 12 月 21 日～平成 26 年 1 月 19 日 20 日間

観覧者数 290 人（有料観覧者 189 人 無料観覧者 101 人）

「港と船の絵葉書」展

当館所蔵の大國丸・白山丸の絵葉書やみなとぴあ所蔵の新潟築港に関する絵葉書を展示し、明治から昭和十年代の新潟港の様相の一端を紹介した。

開催期間 平成 26 年 1 月 29 日～2 月 9 日 11 日間

観覧者数 328 人（有料観覧者 192 人 無料観覧者 136 人）

「ひな人形とからくり人形」展

市民団体である「湊にいがた雛人形町めぐり連絡会」と共催し、旧齋藤家別邸・燕喜館など市内 11 施設と連携協力し、町中の活性事業の一環として同展を実施した。当館では、小澤家旧蔵の雛人形をはじめ周辺地域のひな人形を借用し藤ノ間で展示するとともに、「雛人形連絡会」より出品された明治・大正期の雛人形や江戸時代のからくり人形を展示し、地元に残るひな人形やからくり人形の技巧などを紹介した。他にもイベントとしてからくり人形の実演会を 4 回開催した。

開催期間 平成 26 年 2 月 18 日～3 月 9 日 18 日間

観覧者数 720 人（有料観覧者 644 人 無料観覧者 76 人）

「大新潟湊 in 旧小澤家住宅」展 里帰りした小澤家の引き札 -

みなとぴあの開館十周年記念「大新潟湊」展を応援する企画展として開催した。加賀市教育委員会より借用した小澤商店の引き札などを展示し、廻船問屋業を営んだ小澤家の往時の商売の一端を展示紹介した。

開催期間 平成 26 年 3 月 21 日～3 月 31 日 8 日間

観覧者数 262 人 (有料観覧者 241 人 無料観覧者 21 人)

(2) 教育普及事業 436,345 円

体験学習事業

体験プログラムとして、漆器製作体験・蒔絵体験・五月人形づくり・七夕飾りづくり・ひな人形作り・からくり人形実演などを実施した。

博学連携

近隣の 4 小学校 (湊・栄・入舟・豊照) の 3 年生 14 人を対象として、夏休み期間の 8 月 19～20 日の 1 泊 2 日で当館を会場に宿泊体験を実施した。和風建築の講義を長岡造形大学の平山育男先生にいただいたり、からくり人形の実演を見学したり、館内で肝試しをしたり、銭湯に行ったり、蚊帳を吊って就寝したりするなど盛りだくさんの内容で展開し、かつての生活のあり方や旧小澤家住宅の建物や歴史について、楽しく子供達に伝えた。

他にも湊小学校 5・6 年生を対象として、旧小澤家住宅の一室を使って、旧家の豪華な座敷の雰囲気の中かで百人一首大会を開催した。

中学校については、総合学習の要望に応え、みなとまち新潟の歴史と旧小澤家住宅との関連について解説を行った。

新潟大学工学部建設学科建築学コースの学生とともに「しも町」の賑わいと活性化を目的とした連携事業を展開した。景観を活かした町づくり、旧小澤家住宅並びに一部本町商店街のライトアップ、茶処「藤乃花」の営業、「しも町」をアピールするための広報活動、「しも町」を元気にするための組織作りなど学生による諸々の提案に対して助言を行い、事業の集大成となる「きなせや下町」というイベントを 2 月 2 日に実施し、旧小澤家住宅を拠点に、おおいに地域を盛り上げた。

古文書講座 (中級) 全 5 回 (1 月 17 日～3 月 14 日)

みなとぴあの協力を得て、古文書をある程度読解できる人を対象とした中級講座を実施した。冬期で入館者が少ない時期を設定し、月二回程度の間隔で実施した。受講者は 12 名。

庭園花樹解説 全 1 回 (6 月 8 日)

新潟県立植物園副園長倉重祐二さんを講師に迎え、北前船で運ばれたとされるキリシマツツジの話や当館のツツジ・サツキの魅力について解説をしていただいた。

庭園講習会 全 2 回 (6 月 29・30 日、9 月 7 日・8 日)

田辺良夫さんを講師に迎え、当館の庭園を鑑賞しながら、ツツジや松といった庭木の手入れの方法を学ぶ講習会を実施した。

和装着付け・撮影講習会 全 1 回 (5 月 12 日)

和装の着付けと写真撮影会を兼ねた講習会。中村脩さんを講師に迎え、当館の美しい庭園や建物を背景に着付けをした女性参加者が撮影しあい、上手に撮影する方法を学んだ。

ボランティア育成

ボランティア定例会を月 1 回程度開き、ボランティア企画「燈籠」展開催に向け準備作業を行った。

- (3) 施設普及事業 775,201 円
- 庭園の花の様子や企画展などが多くのメディアに取り上げられた。チラシ等を作成し、本施設の利用促進をはかるとともに、非公開部分の開放日を設け見学できるようにするなど来館の動機付けを行う事業を行った。また、音楽会や茶話会なども催し、旧小澤家住宅でのさまざまな楽しみ方を提案するとともに、観覧者アンケートを実施し、来館者のニーズの把握にも努めた。
- トリオ・ダンシュ・デ・コロン（7月24日）
- 旧小澤家住宅活用実行委員会の協力を得て、ドイツを拠点とする木管トリオのトリオ・ダンシュ・デ・コロンのコンサートを百合ノ間にて開催し、旧小澤家住宅での音楽会の楽しみ方を提案した。
- 茶話会（10月30日）
- 小澤瓊子氏の協力を得て、安河内眞美氏を講師に迎え、現代の暮らしの中で和の文化の魅力や楽しみ方を解説いただいた。
- 花で彩る（1月18日～28日）
- 「水曜日のお花の会」の協力を得て、さびしくなりがちな真冬の館内を色とりどりのフラワーアレンジメントで彩った。
- ワインの昼べ（2月23日）
- ワインコーディネーター星野隆氏（株式会社ホクセイ）の協力を得て、文化財の雰囲気の中でワインを楽しみ、種類や産地、歴史について解説していただいた。
- (4) 調査研究事業 173,530 円
- 小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、小澤家やみなとまち新潟の歴史について市民の理解を深めることを試みた。
- また、その成果を「小澤家の品々」展や「船と港の絵葉書」展などで展示紹介した。
- (5) 収蔵資料保存管理事業 36,241 円
- 前年度に引き続いて、引き渡された資料と台帳データのつきあわせ作業を行い、確認作業を行った。
- 2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 22,218,207 円
- 旧小澤家住宅管理事業
- 新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行った。

平成25年度旧小澤家住宅入館者数 14,608 人

1 付帯事業 39,383,113 円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 38,722,680 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

友の会の運営

ショップの運営

飲食サービスの充実

バックステージツアーの実施

(2) 歴史博物館付帯事業 660,433 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

物販等ショップの運営

自動販売機設置

(3) 旧小澤家住宅付帯事業 0 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、和の文化、湊町や歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行った。

2 施設貸与事業 36,268,169 円

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行った。

市民芸術文化会館 (24,087,978)

音楽文化会館 (4,216,950)

歴史博物館 (7,037,483)

旧小澤家住宅 (925,758)

2 平成26年度事業計画

公1 事務局事業

19,151 千円

文化事業 19,151 千円

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援する。

(1) 主催事業 6,771 千円

ミニライブコンサート (323)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出し、市役所を訪れた市民に気軽に音楽を楽しんでもらう。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

文化講演会 (477)

文芸作家らを講師に招き、講演会を開催する。

坂口安吾顕彰事業 (5,971)

新潟市が管理する安吾 風の館での資料展示を行うほか、「坂口安吾デジタルミュージアム (HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努める。また、引き続き関連資料の調査研究を行う。

(2) 共催・協賛事業 4,701 千円

共催事業 (4,150)

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出する。

- ・第62回新潟市芸能まつり (2,500)
- ・第46回新潟市美術展 (350)
- ・第28回新潟市郷土芸能発表会 (300)
- ・2014にいがた総おどり祭(下駄総踊り) (1,000)

協賛事業 (200)

市民が自発的に行う企画性に富んだ、創造的文化事業に対して資金的な支援をする。

(3) 表彰顕彰事業 122 千円

新潟市美術展などの新潟市で開催される公募展に財団賞を交付する。

(4) 支援助成事業 4,901 千円

市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化事業に対して、申請時期を上期・下期の2期に分け、上限20万円で助成金を交付する。

(5) 芸術家支援事業 2,656 千円

新潟市が実施する下記の芸術家支援制度について、広報、申請受付、融資金の振込、シェアハウスの管理、芸術家情報の提供などの事務を受託する。

助成金等内定者資金融資事業

マンガ家創業・雇用支援シェアハウス事業

アーティスト・クリエイターデータバンク事業

1 文化事業(指定管理事業) 538,197 千円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行う。

また、りゅーとぴあと音楽文化会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図る。

(1) 音楽事業 190,402 千円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらに、オルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努める。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図る。

なお、4月25日～27日に開催されるクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業と連携を取りつつ、合わせて広範な集客を図る。

鑑賞事業 (155,971)

- 東京交響楽団シリーズ -

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第83回	平成26年	5月25日(日)	～ベルリオーズ：テ・デウム～
第84回		6月15日(日)	～シューベルト：交響曲第8番八長調「ザ・グレート」～
第85回		9月23日(火・祝)	～メンデルスゾーン：交響曲第4番イ長調「イタリア」～
第86回		11月9日(日)	～ベルリオーズ：幻想交響曲～
第87回		12月14日(日)	～ブルックナー：交響曲第3番二短調「ワーグナー」～
第88回	平成27年	3月1日(日)	～エルガー：～交響曲第1番変イ長調

・コントホールへようこそ～わくわくキッズコンサート(5回公演) 平成26年11月11日(火)・12日(水)

・特割コンサート 平成26年11月12日(水)

・東響定期+ 日本のオーケストラシリーズ No.6

日本センチュリー交響楽団

平成26年7月13日(日)

・東響定期+ ホルン「紅白歌合戦」

平成26年8月30日(土)

- ピアノ・リサイタルシリーズ -

・No.32 アリス＝紗良オット

平成26年6月11日(水)

- 歌の花束シリーズ -

・Vol.22 ミラノ大聖堂聖歌隊

平成26年11月30日(日)

- カルテットシリーズ -

- ・特別企画 1966 カルテット 平成 26 年 7 月 10 日(木)

- オルガンシリーズ -

- ・山本真希リサイタルシリーズ No.18 平成 26 年 10 月 3 日(金)
- ・山本真希リサイタルシリーズ No.19 平成 27 年 3 月 21 日(土)
- ・オルガン・クリスマスコンサート 平成 26 年 12 月 20 日(土)
- ・ルドルフ・ルツ オルガン・リサイタル 平成 27 年 1 月 30 日(金)
- ・ルドルフ・ルツ オルガン・マスタークラス 平成 27 年 1 月 31 日(土)

- りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ -

- ・オペラ・コンサート 2015 平成 27 年 3 月 15 日(日)

- ホール体験事業 -

- ・1 コインコンサート
 - Vol.70「オルガン」 平成 26 年 5 月 11 日(日)
 - Vol.71「金管五重奏」 平成 26 年 6 月 19 日(木)
 - Vol.72「ヴァイオリン」 平成 26 年 7 月 2 日(水)
 - Vol.73「チェロ」 平成 26 年 9 月 5 日(金)
 - Vol.74「バンドネオン」 平成 26 年 11 月 29 日(土)
 - Vol.75「ピアノ」 平成 26 年 12 月 10 日(水)
- 1 コイン・ガラ・コンサート 平成 26 年 9 月 19 日(金)

- その他 -

- ・コンサートホール企画連絡会議連携事業
 - チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 平成 26 年 4 月 17 日(木)
- ・茂木大輔のオーケストラコンサートシリーズ Vol.10 平成 26 年 9 月 28 日(日)
- ・ネマニャ・ラドロビッチ ヴァイオリンリサイタル 平成 26 年 10 月 22 日(水)
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」 平成 27 年 1 月 4 日(日)
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤーコンサート」 平成 27 年 1 月 4 日(日)
- ・オペラアターこんにゃく座 オペラ《よだかの星》とコンサート 平成 26 年 11 月 24 日(月・休)劇場

育成・普及事業 (34,431)

- オルガン事業 -

- ・オルガン普及プログラム
 - りゅーとぴあオルガン講座
 - 入門講座
 - 市民オルガン講座 ポジティブオルガン使用の半年コース
 - 基礎講座
 - ジュニアコース 大オルガン使用の半年コース

一般コース	大オルガン使用の1年コース
応用講座	
応用コース	大オルガン使用の1年コース
オルガン・サマーデイズ	平成26年8月2日(土)
ニューイヤー・オルガンスペシャル	平成27年1月11日(日)
オルガン音楽隊	随時・通年
- 市民参加合唱団 -	
・にいがた東響コーラス	平成26年4月～10月
- ジュニア等育成事業 -	
・ジュニアオーケストラ教室育成事業	
第33回定期演奏会	平成26年9月14日(日)
クリスマス演奏会	平成26年12月23日(火・祝)音文
・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会	通年
・ジュニア合唱団育成事業	
第24回定期演奏会	平成26年7月20日(日)
クリスマス演奏会	平成26年12月21日(日)音文
第37回新潟県少年少女合唱団合同演奏会	平成26年8月17日(日)
第2回にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2015	平成27年2月14日(土)
・ジュニア邦楽教室育成事業	
第19回定期演奏会	平成26年7月28日(日)音文
クリスマス演奏会	平成26年12月20日(土)音文
・ジュニア音楽教室第11回スプリングコンサート	平成27年3月29日(日)
- その他 -	
・リゅーとぴあアウトリーチ事業	通年
・おんぶん・リレーコンサート	平成26年11月21日(金)～23日(日)
・コンサートホール企画連絡会議	通年

(3) 演劇事業 137,837 千円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能などの様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指す。さらに専門ホールの特性を活用した新潟発の演劇作品を創造し、全国に向けて発信する。また、「演劇スタジオ APRICOT」、「こどもの劇場シリーズ」により次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育む。また、地域の劇団との交流を目的とした「芸術のミナト 演劇祭」を実施することにより、地元人材の育成と演劇活動の活性化を目指しながら、更なる芸術文化活動の振興を図る。

鑑賞事業 (66,694)

・「THE BIG FELLAH」ビッグフェラー 2回公演 平成26年6月21日(土), 22日(日)

- ・劇団イキウメ「関数ドミノ」 1回公演 平成 26 年 6 月 8 日(土)
- ・「第二十六回ふるまち新潟をどり」 2回公演 平成 26 年 6 月 16 日(日)
- ・「マクベス」 2回公演 平成 26 年 7 月 8 日(火), 9 日(水)
- ・白石加代子「百物語」第三十二夜ファイナル公演 1回 平成 26 年 8 月 21 日(木)
- ・「春風亭小朝独演会」 1回公演 平成 26 年 9 月 予定
- ・「人形浄瑠璃・文楽」 2回公演 平成 26 年 10 月 1 日(水)
- ・葛河思潮社 Vol.4「背信」 1回公演 平成 26 年 10 月 12 日(日)
- ・ナイロン 100 新作 2回公演 平成 26 年 11 月 1 日(土), 2 日(日)
- ・「ショーシャンクの空に」 1回公演 平成 27 年 1 月 28 日(水)
- ・NE/ST 第 3 弾 平成 27 年 3 月 予定

育成・普及事業 (18,258)

- ・演劇スタジオキッズコース・APRICOT 通年(発表公演:夏季/夏季ツアー/春季)
- ・こども劇場シリーズ「へんてこレストラン」 平成 26 年 8 月 未予定
- ・「芸術のミナト 演劇祭」第 4 回 平成 27 年 3 月 1 日(日)~15 日(日)
- ・りゅーとぴあ・演劇ワークショップ 年 4 回(時期未定)

新潟発創造事業 (52,885)

- ・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ
 - 司馬遼太郎「燃えよ剣」~土方歳三に愛された女、お雪~ 再演公演 出演/十朱幸代
平成 26 年 4 月 18 日(金) 音楽文化会館 他、北海道、松本等へ巡演
 - 「エディット・ピアフ」 出演/松坂慶子
平成 26 年 10 月 1 日(水), 2 日(木) りゅーとぴあ劇場
 - 「さぶ」 出演/十朱幸代
平成 26 年 12 月 17 日(水), 18 日(木) 2 回公演 りゅーとぴあ・能楽堂
- ・「雪のひとひら」
平成 27 年 2 月 7 日(土) 音楽:宮川彬良、出演:米良美一他 りゅーとぴあ劇場

(3) 能楽事業 28,514 千円

伝統様式に則った本格的な能舞台と劇場の舞台を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた鑑賞公演と、能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座、ワークショップ等を開催する。また、子どもたちを対象としたお囃子や狂言のワークショップやアウトリーチ事業の能楽体験教室を開催することにより若年層への能楽普及を図る。

鑑賞事業 (24,671)

- ・「春の能楽鑑賞会」(宝生流) 2回公演 平成 26 年 5 月 24 日(土)
- ・「秋の能楽鑑賞会」(観世流) 2回公演 平成 26 年 10 月 26 日(日)
- ・茂山狂言 平成 26 年 7 月 5 日(土)
- ・野村万作・萬斎狂言公演 2回公演 平成 26 年 12 月 7 日(日)
- ・馬場あきこ 能楽の愉しみ 平成 26 年 12 月 14 日(日)

育成・普及事業 (3,843)

- ・若手能楽師による能楽基礎講座 年 3 回 平成 26 年 6 月 18 日(水),

・能楽ワークショップ [囃子]	平成 26 年 8 月 30 日(土)
・観世流能楽鑑賞教室	平成 27 年 1 月 24 日(土)
・能楽ワークショップ [狂言]	平成 26 年 6 月(予定)
・「さわってみよう能の世界」	平成 26 年 7 月 26 日(土)
・能楽体験教室	平成 27 年 1 月(予定)
	平成 27 年 3 月(予定)
	平成 26 年 5~7 月(予定)

(4) 舞踊事業 117,538 千円

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism の活動を通して、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信し舞台芸術の振興を図る。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育む。また、他都市の公立劇場との連携・協力関係を構築することにより、地方の拠点館としての地位と役割を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上を目指す。

新潟発創造事業 (114,983)

- ・ りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism
 - Noism 設立 10 周年記念 Noism1 & Noism2 合同公演
 - 劇的舞踊「カルメン」新潟公演 3 回公演 平成 26 年 6 月 6 日(金)~8 日(日)
 - 神奈川公演 3 回公演 平成 26 年 6 月 20 日(金)~22 日(日)
 - 兵庫公演 平成 26 年 6 月 27 日(金)
 - 金森穰 新作公演「(演目未定)」 平成 26 年 12 月 19 日(金)~21 日(日)
 - Noism2 特別公演 2014 「水の渦ログ」新潟 ODORI@潟 4 回公演
 - 平成 26 年 4 月 26 日~27 日(日)
 - 「みなとぴあプロジェクションマッピング」 4 回公演
 - 平成 26 年 5 月 3 日(土)~4 日(日)< 予定 >
 - Noism2 春の定期公演 2015 平成 27 年 2 月 21 日(金)~23 日(日)

育成・普及事業 (2,555)

- ・ Noism 関連事業「柳都会」 開催時期未定(年 4 回開催予定)
- ・ 市内中学校アウトリーチ事業 開催時期未定
- ・ 高校生サマースクール事業 開催時期未定(夏季休暇時期予定)

(5) 共催事業 0 千円

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行う。

・ウィーン・カンマーオーケストラ	平成 26 年 6 月 7 日(土)
・ラ・フォル・ジュルネ新潟 2014	平成 26 年 4 月 25 日(金)~27 日(日)
・第 62 回新潟市芸能まつり	平成 26 年 10 月~11 月音文ほか
・現代舞踊協会北陸支部合同公演	平成 26 年 8 月 31 日(日)
・「劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合」	平成 27 年 1 月 18 日(日)

- (6) 広報営業事業 23,496 千円
 公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピールして、会館の知名度の拡大と利用促進を図る。
 ・ 広報・営業事業
 ・ 音楽広報事業
 ・ 演劇広報事業
- (7) 調査研究諸費 1,100 千円
 次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努める。
- (8) 事業企画諸費 12,045 千円
 音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を外に発信する。
 ・ 芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
 ・ 専属オルガニスト
- (9) 事業管理経費 27,265 千円
 票券業務、託児サービス業務、友の会運営業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努める。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 691,552 千円

- (1) 市民芸術文化会館管理事業 586,173 千円
 平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。
 平成 26 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行う。
 コンサートホールの管理
 劇場の管理
 能楽堂の管理
 ギャラリーの管理
 スタジオの管理
 練習室の管理

(2) 音楽文化会館管理事業 105,379 千円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。

平成 26 年度も市民芸術文化会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行う。

ホールの管理

練習室（13 室）の管理

新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

203,400 千円

1 文化事業(指定管理事業) 19,235 千円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新 35 千円

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業 8,263 千円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。平成 25 年度から継続する開館 10 周年記念特別展を含め、今年度も例年通り 4 本の企画展を開催する。

開館 10 周年記念特別展 「大新潟湊展」 (2,000)

開催期間 平成 26 年 3 月 21 日～5 月 18 日 51 日間

多くの廻船でにぎわった江戸から明治期の新潟湊をテーマとし、県内外に所在する新潟と深くかかわる資料を集め展示をし、新潟湊の役割や特色を体系的に明らかにする。

「新潟地震」展(仮称) (3,375)

開催期間 平成 26 年 6 月 14 日～8 月 24 日 64 日間

新潟地震から 50 年の節目にあたり、写真や映像などの資料を収集して展示する。従来被害を中心に語られがちであった新潟地震に、歴史的地震との関係や復興といった視点からも検証を行い、新たな側面を明らかにする。

むかしのくらし展「冬の新潟(仮称)」 (1,365)

開催期間 平成 26 年 9 月 6 日～12 月 23 日 92 日間

小学校の単元と連動した展覧会。今回は開館 10 周年を記念し、第 1 回目のテーマ「冬の新潟」をさらに充実させた内容で新潟の冬のくらしを紹介する。

合併 100 周年記念「沼垂」展(仮称) (494)

開催期間 平成 27 年 1 月 10 日～2 月 8 日 26 日間

新潟市との合併 100 年の節目であることから、沼垂の歴史に注目した展示を行う。古代から現代までの歴史を、それぞれの時代の特色を反映するコーナーを設定して展示紹介する。

その他 (1,029)

平成 27 年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

(3) 教育普及事業 1,019 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学

校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を購入する。

体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行く。

博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。

講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

・博物館講座	年9回
・館長講座	全4回
・古文書入門講座	全5回

ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

(4) 施設普及事業 3,173 千円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

収蔵品展・新収蔵品展の開催

開催期間 平成27年2月21日～3月29日

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展と、26年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

みなとぴあファンクラブ

「みなとぴあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きを開催する。

(5) 調査研究事業 854 千円

市民の関心を引き起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。館全体としては当館のテーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか各学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講

座等で市民に報告・還元するとともに、研究紀要として刊行する。

(6) 資料整理事業 5,891 千円

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。新規収集資料の燻蒸や殺虫処置を行う。博物館収蔵庫、石庫、新潟市文化財センター、旧木場小学校、旧板井保育園等に所蔵する資料が、少しでもよりよい状況で保存できるように収蔵施設及び展示設備の資料保存環境の管理に努める。また、市外のほかの収蔵施設と協力する。

資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。あわせて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 184,165 千円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)

旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)

屋外施設(広場、堀、園路等)

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

旧新潟税関庁舎

史跡(石段、石積み、石庫等)

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

(4) 修繕計画等作成事業

(5) シアターリニューアル事業

1 文化事業(指定管理事業) 1,543 千円

「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。」という小澤家住宅の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 常設展示事業

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

(2) 企画展示事業 568 千円

「大新潟湊展 in 旧小澤家住宅」

開催期間 平成 26 年 4 月 1 日～4 月 13 日

新潟市歴史博物館開館 10 周年記念「大新潟湊展」展を支援する企画展。かつて小澤商店で得意先に配布した引き札などの資料を展示する。

「端午の節句飾り」展

開催期間 平成 26 年 4 月 19 日～5 月 11 日

端午の節句を楽しむ企画展。小澤家に伝わる資料や当館所蔵の資料を展示する。

「水道」展

開催期間 第一部 平成 26 年 5 月 24 日～6 月 1 日

第二部 平成 26 年 6 月 10 日～6 月 16 日

新潟市水道局と共催し、水道週間に合わせて開催する企画展。新潟市所蔵の水道敷設資料を展示し、併せて小澤家七三郎が本市の水道敷設事業に関与したことも紹介する。

「新潟地震」展

開催期間 平成 26 年 6 月 16 日～6 月 18 日

新潟市歴史博物館「新潟地震」展関連展示。

「うちわ」展

開催期間 平成 26 年 6 月 21 日～7 月 13 日

新潟の夏の風情を楽しむ企画展。当館所蔵の昭和期のうちわを展示紹介する。

第四回「新潟漆器」展

開催期間 平成 26 年 7 月 19 日～8 月 31 日

新潟市漆器同業組合と共催する企画展。江戸時代から明治期の膳・椀・箸・花活けなどの新潟漆器を各室で展示し、新潟市の伝統工芸品である新潟漆器の魅力を広く紹介する。

「錠前と鍵」展

開催期間 平成 26 年 9 月 6 日～10 月 3 日

新潟ハイカラ文庫の協力を得て、日本の錠前と鍵の魅力を紹介する企画展。蔵・筆筥などの鍵や錠前を展示する。

第三回「仏壇」展

開催期間 平成 26 年 10 月 11 日～11 月 3 日

新潟仏壇組合と共催する企画展。新潟仏壇の製作技術と歴史について、パネルや仏壇などで展示紹介する。

「屏風」展

開催期間 平成 26 年 11 月 15 日～11 月 24 日

博物館協力の企画展。博物館所蔵の屏風や小澤家所蔵の南蛮屏風を借用し展示する。

ボランティア企画「灯籠・狛犬」展

開催期間 平成 26 年 12 月 6 日～平成 27 年 1 月 7 日

当館ガイドボランティアが企画から展示までを行う企画展。灯籠や狛犬について調査・研究した内容をパネルなどで展示紹介する。

「羽子板」展

開催期間 平成 27 年 1 月 10 日～1 月 25 日

正月の情趣を楽しむ企画展。当館所蔵の羽子板を展示する。

「小澤家ゆかりの品々」展 小澤家に残るさまざまな資料

開催期間 平成 27 年 2 月 1 日～2 月 11 日

企画展としてテーマを設けにくい資料を展示する企画展。木製のちりとりやネズミ返し
の板の支えなど当館所蔵の雑多でユニークな資料を展示する。

「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 平成 27 年 2 月 22 日～3 月 8 日

旧斎藤家別邸など市内 20 施設と共同で実施する雛人形町巡り企画に併せて開催する
企画展。当館所蔵の雛人形や新潟ハイカラ文庫所蔵のからくり人形などを展示する。

「小澤家ゆかりの品々」展 小澤家に残る化粧道具

開催期間 平成 27 年 3 月 21 日～3 月 31 日

化粧をテーマにした企画展。当館所蔵の鏡台やお歯黒をする際に使った道具などを展
示する。

(3) 教育普及事業 197 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人や
モノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学
校等の教育活動を提案したりする。

体験学習事業

・漆器制作、蒔絵体験、ひな人形づくり、五月人形づくり等を行う。

博・学・産連携事業

・旧小澤家住宅を拠点とした町のにぎわい活性化を目指すための新潟大学との連携事業
(3 年目)

「きなせや下町」

・小学生を対象とした文化財での夏の宿泊体験

・小学生百人一首大会

講座・講習・講演会事業

・古文書講座(中級編) 全 5 回 博物館の協力を得て実施

- ・企画展の内容に即した講演会
からくり人形講演会
 - ・庭木を楽しむ講習会 全3回(春2回、秋1回)
- ボランティア事業
- ・新規ボランティア養成
 - ・ボランティア勉強会の実施

(4) 施設普及事業 365 千円

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりなど、本施設の利用推進を図る。

- ・奥座敷2階、離れ座敷の特別公開 平成26年11月23日(勤労感謝の日)
平成27年1月31日(きなせや下町)(予定)
- ・音楽会の開催
ラ・フォル・ジュルネコンサート 平成26年4月27日

(5) 調査研究事業 187 千円

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

- ・近隣現存土蔵並びに町家所在確認と活用のための調査
土蔵や町家を活かした町のにぎわい活性化を目指すための準備作業

(6) 収蔵資料の保存管理事業 175 千円

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

(7) その他事業費 51 千円

- 地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。
- ・市民茶会 平成26年10月4日～5日
 - ・下本町商店会との連携事業(予定)

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 23,818 千円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅(情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等)の管理運営を行う。

収1 付帯・施設貸与事業

84,644 千円

1 付帯事業 37,309 千円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 36,838 千円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努める。

友の会の運営

ショップの運営

飲食サービスの充実

バックステージツアーの実施

(2) 歴史博物館付帯事業 461 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

物販等ショップの運営

自動販売機設置

(3) 旧小澤家住宅付帯事業 10 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、和の文化、湊町や歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

物販等ショップの運営

2 施設貸与事業 47,335 千円

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行う。

市民芸術文化会館 (30,851)

音楽文化会館 (5,546)

歴史博物館 (9,693)

旧小澤家住宅 (1,245)